

PRESS RELEASE

岩見沢市総務部秘書課広報係
令和7年12月10日

問合せ先

教育部生涯教育課

電話(直通)：35-5134

担当者：課長 高居 眞 司

岩見沢市指定文化財の新規指定について（答申）

岩見沢市文化財保護委員会において進めておりました、市指定文化財候補の選定について、以下のとおり教育長への答申を行います。

記

【日 時】 令和7年12月11日（木）11：00～

【場 所】 であえーる岩見沢4階 教育長室

【答申者】 岩見沢市文化財保護委員会 委員長 尾崎 和男

【内 容】 名 称：辻村家ガラス乾板写真及び関連資料（有形文化財）

所在地：志文町286番地

数 量：426点（内訳は別紙のとおり）

所有者：辻村淑恵

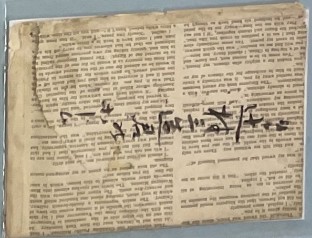
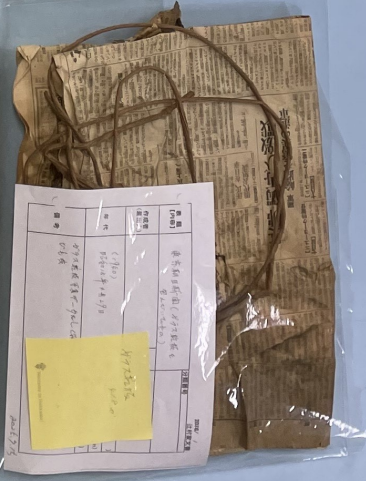
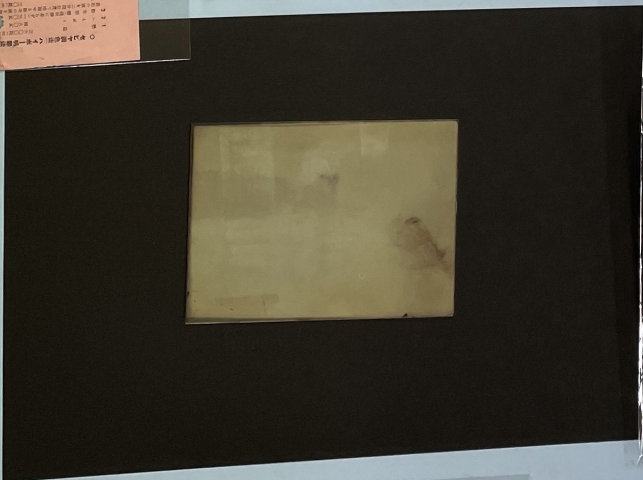
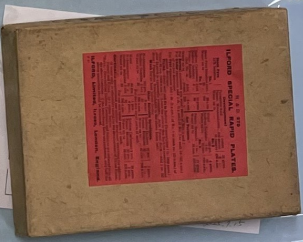
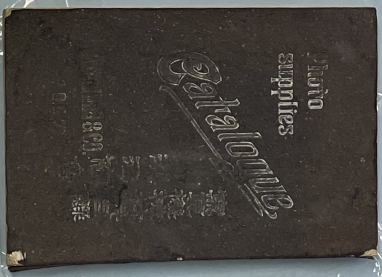
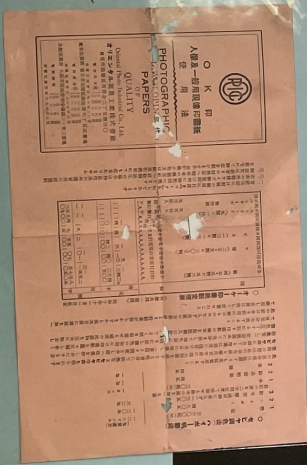
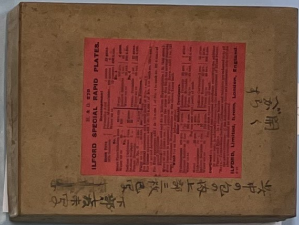
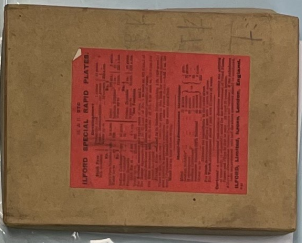
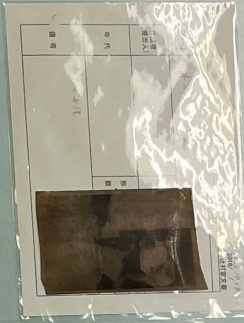
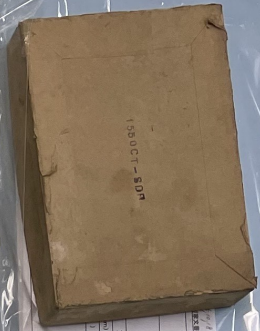
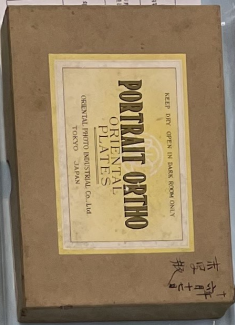
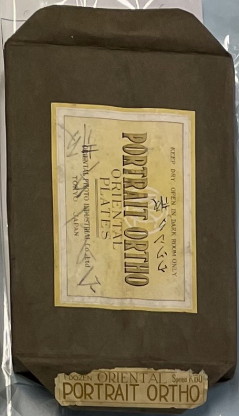
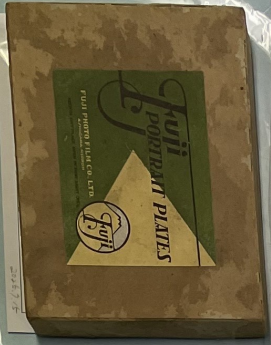
市指定文化財候補の選定経過（岩見沢市文化財保護委員会）

年度	内 容
H27年度	・平成4年以降、未実施であった新たな文化財の発掘（有形・無形）のため、文化財保護委員からの情報提供を依頼
H28年度	・有形文化財21件、無形文化財2件、記念物10件、合計33件の文化財候補を選定
H29年度	・有形文化財14件に絞り込み
H30年度	・有形文化財11件に絞り込み、文化財候補の見学
R6年度	・文化財候補見学終了
R7年度	・有形文化財3件に絞り込み、1件を選定 ・市教委から文化財保護委員会への諮問 ・文化財保護委員会から市教委へ答申（12/11予定） ・（予定）12/24定例教育委員会、告示（市文化財保護条例第6条） ・（予定）所有者へ指定書交付（市文化財保護条例施行規則第5条） ・（予定）文化庁へ登録報告（文化財保護法第182条第4項）

※指定となった場合は、H3.10指定の「阿弥陀如来立像」以来34年ぶり

辻村家ガラス乾板写真及び関連資料一覧

名 称	点 数	備 考
ガラス乾板	392	
フィルム	23	
ガラス乾板の入っていた箱	7	
書籍『Photo supplies Catalogue 写真機械材料目録』	1	浅沼藤吉編 明治40年9月20日発行
文書『OK 印人像及一般用現像印画紙使用法』	1	
東京朝日新聞（昭和15年4月29日）	1	
ガラス乾板が入っていた袋	1	
合計	426	



令和7年12月 日

岩見沢市教育委員会
教育長 吉 永 洋 様

岩見沢市文化財保護委員会
委員長 尾 崎 和 男

(案)

岩見沢市教育委員会条例に基づく岩見沢市指定文化財の指定について（答申）

岩見沢市文化財保護条例第5条第1項に基づき、令和7年7月16日付け岩教生第157号で諮問を受けた岩見沢市指定文化財の指定について、本委員会において慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

記

1 答申内容

区分	種別	名称	所在地	数量	所有者
新規指定	有形文化財	辻村家ガラス乾板 写真及び関連資料	志文町 286 番地	4 2 6 点	辻村 淑恵

2 答申理由

辻村直四郎写真ガラス乾板の撮影年代は明治30年代後半～昭和10年代前半。保存状態がきわめて良好であり、被写体は家族、農場（かんがい工事、収穫、水田、羊毛加工）、忍路海水浴、阿寒等観光、生花など多岐にわたり、岩見沢市にとって貴重な歴史的映像資料の一つであり、特に重要な文化財であると評価することができる。以上のことから、岩見沢市指定文化財として保存、活用していく必要がある。

※付帯意見

本市にとって重要な文化の保全や活用のため、必要な措置を講じ市民文化の向上を資するよう積極的な活用機会に努められたい。